

SFC全ソフトカタログ【上巻】

1995年1月21日発行  
1冊2巻分  
第3巻発売中 消費者説明  
平成6年6月1日 第1種郵便物認可

攻略 クロノ&第4次

# 電撃スーパーファミコン

衝撃速報

ハドン 中本氏

天外魔境ZIII

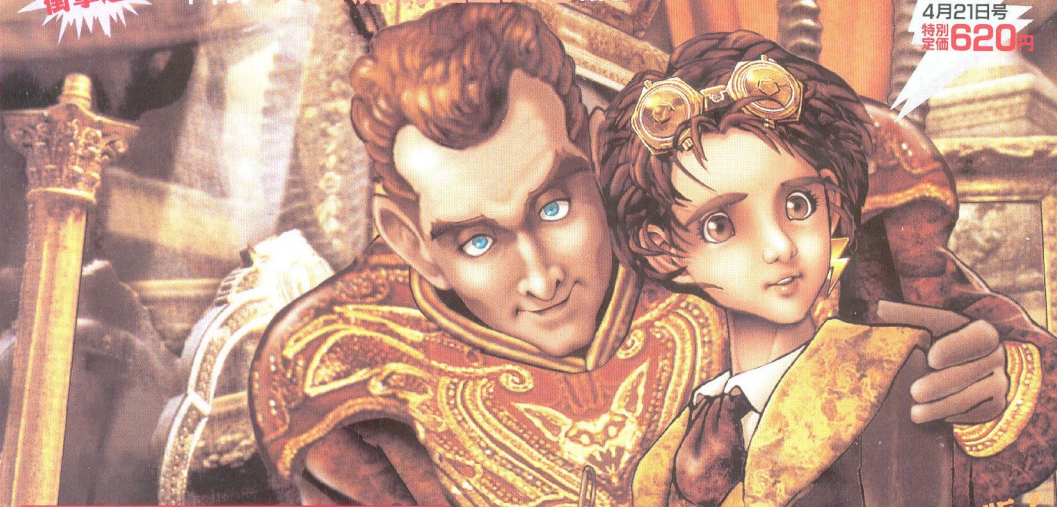
を語る

スーパーファミコンは任天堂の商標です

No. 7

4月21日号

特別定価 620円



SFC全ソフトカタログ

決定版! 豪華版! 永久保存版!

100p 特大付録

# ゲーム百科全書【上巻】

1990~1995

ゲーム界の全史! '95年3月31日までに発売されたスーパーファミコンの全ソフトを収録!  
上下巻合わせると、みごとなゲーム百科のできあがり!

本邦初公開! オープニングビジュアル

聖獣魔伝ビースト&ブレイド

ドラゴンクエストV

第4次スーパーロボット大戦

クロノ・トリガー

- スーパーフラッシュ ● ミスティックアーク バウンティ・ソード ● ずーぱーなぞがよ ● シムシティ2
- 超攻略 ● 旧約・女神転生 ● レディストーリー ● 魔法陣グルグル ● 幽遊白書FINAL ● スーパーフォーマーションサッカー 95

# D-SCOPE

“新ジャンル”という言葉を最近とんと聞かなくなつた。すべて既成ジャンルをミックスさせるだけの、「そーいやあアレに似てるんだよねえ」ってなソフトばかりの昨今に、ハード側からのドッキングキック。ついに発売日決定ですぞ！ そうゲーム界の未開の地を切り拓く革命児、驚異の立体映像マシン “バーチャルボーイ” が、これぞ新ジャンル誕生の瞬間!!

## そしてウルトラ64発売のスケジュールが見えてきた

春には出るといわれていたものの、ちょっと予定が遅れ、先取りキッズたちをヤキモキさせていた、バーチャルボーイ (V B) の発売日が7月2日に決定。夏休みにたっぷり遊べるナイスタイミングに定価¥15,000 (税別) で任天堂から発売される。

昨年の初心会ソフト展示会でついに謎のベールを脱ぎさして半年、ついにボクらの手元に届くことになる。このマンの特徴といえば、その驚異的な立体映像。小型LEDディスプレイ2台が、左右両眼に送る映像は、プレイヤーを“ゲーム空間”という仮想次元にズブズブと浸らせてくれる。“奥行き”という新機軸を打ち出したこの新ハードが、いったいどんなゲームを生み落としてくれるのか、楽しみどころだよな。

さて、新感覚の映像がウリモンだけに、チェックしたいのはアプドのこと。任天堂からは、本体と同時に数本が発売予定だ。この中にはもちろんマリオシリーズも登場するはず。キノコを食べたマリオが、キューンと画面手前まで飛び出してくるなんていう楽しいモノになるかもしれないぞ。

新ハードといえば、気にせずにはいられないのがやっぱりソフトのお値段。任天堂によれば、¥1千円台が中心とのことで、¥5千円以上ということはありえないようだ。本体とソフト1本で2万円以内というのは、SFCソフトの定価が1万円強というのも珍しくない。最近ではかなり魅力的な価格だ。

サードパーティからの援護射撃も、右の表を見ればわかる通り、ナカナカのもの。ナムコ、ハドソンの老舗を始め、強力なラインナップだ。発売時期がけど、従来の開発技術とは異なる技術を使うためか、本体と同時に発売というわけにはいかないようだ。夏休み後半にはかなりのサードパーティ製VBソフトが店頭に並んでいるはずだ。

任天堂は発売初年度に200万台を販売する予定。赤色のモノクロ画面、ひとりでのごき込むために多人数で同時に楽しむことができない、などいろいろと賛否両論ありそうなマシンだけど、今までのゲームとはまったく違った新マンの登場となりそうなのさ。雑誌

メディアではその仮想現実を伝えることができないだけに、“ロコ”的な広がりかたで夏以降ジワジワとブームがやってくるんじゃないかな。

さて任天堂の今年の戦略は、このVBと衛星データ放送“スーパーファミコンアワー”そして年末のウルトラ64が3本柱だ。ここでVB以外の柱の状況をチェックしておこう。スーパーファミコンアワーは4月23日に放送開始。タモリや内田有紀ちゃんなどと豪華なパーソナリティたちのぎやかオンエアとなりそうだ。そしてキミたちの最大の関心事、ウルトラ64のほうも順調でどうやら予定通り年末に発売されるようだ。もともとハードのほうはすでに完成しているとの情報もあるがソフトがそろわないという状況。しかし、ココに来て開発もスピードアップ。ソフト数本とともに年末商戦に満を持して登場するだろう。

とにかく、この大攻勢のイキオイはすさまじいばかり。今年は任天堂が熱いぞ。

### VBソフトはこのメーカー

アスキー	TNN
アトラス	東宝
カルチャーレーン	ナムコ
ケムコ	ハドソン
タカラ	ヘクト
J・ウイング	魔法
ティーアンドイーソフト	やのまん

7月2日に決定!!

バーチャルボーイの発売日は

## 出荷台数では、セガサターン、プレイステーションが好調続く!

昨年暮れに、各種種出そろった次世代機。各馬がとりあえず、レース場へ足を並べてから、はや4か月。業界外部まで、まき込んだ大ブームも一応鎮静化し、次世代機が「現行機種」として認識されつつあるという段階に移行している。

ここまでの各馬の走りっぷりを見てみると、S・S、P・Sが、それぞれ出荷台数80万台(編集部調べ)と、予想を上回る好調を続けている。一方、先行発売し、イッキに逃げきりを狙っていた3D Oのほうは、苦戦をいられている模様だ。S・SとP・Sは、4か月という短期間で、それぞれ100万台に手が届こうというイキオイ。お互いがライバル関係にあるにも関わらず、同じ出荷実績を誇るというのはなかなかおもしろいところ。Sは「デイトナUSA」、Pは「アーク・ザ・ラッド」という具合で、両陣営ともに良質ソフトをこれからもガンガンとそろえてきそうなのでこのせめぎ合いはしばらく続きそう。

さて、おもしろいのはSとPのSの出荷台数をあわせた160万台という数字。実は、この160万台、セガファミが発売されてから4か月間の出荷実績とほとんど同じなのだ。つまり今のS・S、P・Sをあわせた状況は、セガファミ

発売後4か月の段階と重ねあわせることができるってワケ。

ここで、セガファミ発売後4か月を思い出してみよう。本体と同時に「マリオウ」F・E・R・O」という強力なソフトで引っ張り、「グラディウス」「ファイナルファイト」などアーケード有名ソフトの移植で販売台数を順調に伸ばしていた段階だ。

コレって「バーチャ」「リッジ」で引っ張り、「デイトナ」「闘神伝」で販売実績を増やすというS・S、P・Sの展開とソックリ。まるで、セガファミの歩んできた道をトレースするように、順調に成長を続けている様子がかがえるのだ。

セガファミのほうは、発売ちょうど半年後に、「FFIV」というメガヒットソフトが発売。これで、イッキにブレイクして、出荷実績をアップさせたのだ。?となど、これから2か月くらいの期間に出るソフトがS・S、P・Sがブレイクするカギとなる? そうなのだ。任天堂ウルトラ64が、予定通り年末には発売されそうなので、夏にどれだけ「売る」かは、各次世代機にとって、重要なターニングポイントとなりそう。第2次次世代ゲーム機戦争幕開けの夏になりそう!?

## セガサターン

出荷台数: 80万台  
秋葉原価格: 平均¥38,788

- 売れ筋ソフト 2/27~3/12
- ①バンツァードラグーン
  - ②アイドル雀士 スーチャーパイSpecial
  - ③バーチャファイター

出荷台数:  
80万台  
秋葉原価格:  
平均¥39,435



- 売れ筋ソフト 2/27~3/12
- ①闘神伝
  - ②キリク・ザ・ブラッド
  - ③リッジレーサー

## プレイステーション

※ハード価格は3月末日の秋葉原の6SHOPの平均価格です。

## CAPCOMの 大攻勢か!?

今年のCAPCOMは、次世代機に力を注ぐ!?

3月15日付けの日経産業新聞によるとCAPCOMは、32ビット次世代機向けのソフト26タイトルを、4月から1年間のうちに発売する予定。と報じているのだ。その内容をざっと紹介すると、P・S向けが2、S・Sが9、3D Oが5タイトル。立体版「ストII」ともいえる、「バーチャ・ストリートファイターII」(仮称)など、大半がホリソンを使った立体画像がメインのもので伝えている。一方、S・F Cは8タイトルが予定されているという。何だか今年のCAPCOMはあらゆる機種に大攻勢。ファンならずとも気になる情報だ。



■大人気ゲーム「ストII」から派生したT.V.版の展開のほうもかなり意味的だし、今年もCAPCOMの本気が感じられます。

◆そして次世代ゲーム機の展開もありそう。アーケード版の新作「ストII」ファイターII「ピビ」もある。

## バーチャルボーイも出展! GAME EXPO'95

3月24~26日の3日間にわたって幕張メッセで開催されたGAME EXPO'95はちょっとした話題を呼んだ。というのも、一般人が初めて任天堂のバーチャルボーイ(VB)を体験できたイベントだったからだ。ほかソニーのプレイステーションソフトも大ブースを構えていて新作ソフトがぞんぶんにプレイできた。

さて気になるVBソフトだが、去年の業界向け展示会(初心会ソフト展示会)に出展されたソフトと比べれば、かなりバージョンアップ、発売が本格的に近づいたという印象だ。新しく発表されたソフトもあり、任天堂「マリオドリムテニス」(SPG)、T&Eソフト「レッドアラーム」(STG)がプレイできた。またバドソンのSTGも上映されており、サードパーティの開発も順調に進んでいるようだ。

発売日、価格も決まり、あとは待つだけ!?



新作ソフトもいっぱい!



SPACE PINBALL  
スペースピンボール(仮称)  
任天堂株式会社